

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	公衆浴場衛生確保事業			事業番号	011-245
担当部署名	健康福祉	局	保健所	部	環境業務課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
		寄与するKPI	無	取組の方向性	—	—	—
		有・無	指標名	—	—	—	
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
		寄与するKPI	無	取組	—	—	—
		有・無	指標名	—	—	—	

2	関連計画				
3	事業開始年度	昭和 60 年度	点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	公衆浴場の確保のための特別措置に関する法律、堺市公衆浴場衛生確保事業補助金交付要綱			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	堺浴場組合 (組合に加入している15施設 (令和4年度))	対象数	15	単位 施設
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	一般公衆浴場 (物価統制令第4条の規定に基づき入浴料金が定められている公衆浴場) の衛生水準向上を図ることを目的とし、必要な措置を講ずることにより利用者の安全を確保する。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<p>一般公衆浴場は物価統制令による入浴料金が統制されているため、自由に入浴料金を設定することができない。そのため、堺浴場組合が実施している公衆浴場の衛生確保事業に補助を行うことで、基幹設備の整備や改修を促すなど、衛生水準維持または向上を図る。</p> <p>補助の対象は、基幹設備 (ろ過器、集毛器、消毒装置) の整備や改善にかかる経費及び消毒剤等消耗品にかかる経費であり、それぞれ補助対象経費の半額の補助金を交付する。</p> <p>令和4年度の補助対象施設は15施設である。</p>			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	堺浴場組合			
10	公民連携・協働事業				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
	衛生確保施設	件		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
			目標値	15	15	14	14
			実績値	15	14		
	達成率	100%	93%				
当該指標を選定した理由	公衆浴場の水質が良好に保たれているかを確認する基準として、法令に細菌学的検査基準が定められているため。						
目標値の設定根拠・算出方法	目標値：対象施設数 (施設の廃止に伴い減少している) 実績値：細菌学的検査基準内の施設数						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
	基幹設備改善施設	件		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標値	2	2	2	
			実績値	2	1		
	達成率	100%	50%				
当該指標を選定した理由	公衆浴場の水質を良好な状態に保つためには、ろ過機等の基幹設備の安定稼働が重要な役割を果たすため						
目標値の設定根拠・算出方法	目標値：改善を予定している施設数 実績値：改善された施設数						

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	公衆浴場衛生確保事業	事業番号	011-245
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	決算		決算		当初予算	決算	当初予算	
事業費 (a)	1,746		1,589		3,500	44	2,500	
13 財源内訳	国支出金				0		0	
	府支出金				0		0	
	市債				0		0	
	その他 ()				0		0	
	受益者負担金(使用料、手数料等)					0		0
	一般財源	1,746		1,589		3,500	44	2,500
14 人件費 (b)	2,050		2,050		2,050	2,050	2,592	
15 年間経費(c)=(a)+(b)	3,796		3,639		5,550	2,094	5,092	

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
					R4	R5		
16 事業費内訳	R4	決算	44	44	公衆浴場衛生確保事業補助	R4	決算	
		予算	2,500	2,500		R5	予算	
	R5	決算			R4	決算		
		予算			R5	予算		
	R4	決算			R4	決算		
		予算			R5	予算		
	R5	決算			R4	決算		
		予算			R5	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
① 基幹設備改善施設	件	2	1
② 上記①にかかる年間経費	千円	216	44
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	108,000	44,000

備考 (算出についての説明等) 事業費のうち基幹設備の改善や整備に係る経費

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 市民が利用する堺市内の一般公衆浴場 1 5 施設に対し衛生状態を確保するため、一般細菌、大腸菌群、レジオネラ属菌及び過マンガン酸消費量等の行政検査を行った結果、1 施設においてレジオネラ属菌が基準値を超えており、同施設に対し衛生状態を確保するよう指導をした。また、1 4 施設の検査結果は基準値内で衛生状態が良好に保たれた。また令和4年度は基幹設備改善施設の減少や修繕内容の違いから、全体の事業費及び単位当たりの経費が減少した。その要因は基幹設備のメーカーや年式、部品等の耐用年数が施設によって異なるため、令和4年度は基幹設備の改善が必要な施設が 1 施設のみであったこと、さらに改善内容が軽微な改善であったことが考えられる。今後も事業費及び単位当たりの経費は年度によって大幅に増減すると予想される。基幹設備の安定稼働は衛生を確保するうえで重要な役割を果たすため、今後も継続して事業を行っていく必要がある。令和5年度予算は近年の施設の減少及び基幹設備の改修実績等を踏まえ、浴場組合との協議のうえ、予算を減額した。

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19 当該補助事業を行うことで、ろ過機等の基幹設備が適切に管理され、消毒剤による浴槽水の消毒が適切に行われたことで、一般公衆浴場で衛生水準が確保されている。